

毎日の暮らしにワクワクと感動をプラス！

カムナ通信

vol.57



発行日:令和6年3月1日
(毎月1日発行)
発行人:青木敬司
株式会社カムナ・プランニング/東京都文京区目白
台2-9-7-503
電話:03-3942-8633
info@kamuna-p.jp
<http://kamuna-p.jp/>

コピー、転載、引用、配布
はご自由にどうぞ。

こんにちは。ようやく春らしい日が増えてきました。5日は二十四節気の啓蟄で冬ももりもりのた生きものが目を覚まして活動を始めます。20日が春分で桜が咲き始め、自然界のあらゆる生命が活発になることでしょう。生命の息吹に触れる楽しみを満喫しようと思う今日この頃です。

さて今月は、生命力を旺盛にする新技術を紹介したいと思えます。それは私が20年近く前からお世話になっているICR研究所の電磁波対策商品です。創業者で工学博士の新田雄久さんは、日本が世界に誇る大手電機メーカーH社で、半導体の技術開発をされてきました。コンピュータの心臓部である集積回路に用いる素材の研究に取り組み、当時主流のゲルマニウムからシリコンに転換する技術革新を遂げ、今や世界の標準になっています。このお陰でコンピュータの処理能力や精度が格段に上がり、私たちが使用しているPCやスマホにも応用され、高精度かつ小型化を実現しています。

新田さんは当時から電磁波による生体への影響を危惧していました。欧米はいち早く規制をかけた

ましたが、日本では情報公開されず、今なお知られていないのが実情です。やがてH社を退職した新田さんは、電磁波対策の研究に取り組みます。その中出会ったのが、生体エネルギー研究所の佐藤政二さんによって実用化された「生体エネルギー技術」でした。この技術は農作物の成長促進や病害虫

の耐性向上、連作障害など、数々の課題をことごとく解決し、「不可能を可能にする夢の技術」として注目を集め、今日では様々な産業に技術提供され、数々の実績をあげています。

新田さんはこの技術を製品の電気回路に組み込むことで、電磁波の質を変化させることに成功しました。第三者機関での医学博士の指導による医科学的検証試験では、これまでの常識ではあり得ない結果が次々と明らかになりました。

私が一番驚いたのは、更年期による頭痛やホットフラッシュに悩まされていた40代の女性が、「慈空」を使用してからそれらが全く無くなったことでした。これは検証試験の項目にある「女性ホルモン量の変化」通りの結果で、本人は苦しんでいた日々がウソのようだと言われています。他にも職場の電磁波障害で悩んでいた女性は、「慈空」でその辛さが3分の1ほどに減っているそうです。本人も体が強くなってきたと実感されています。

私が最も注目した試験結果は、「脳波の変化」で、スマホを使用しているものの製品につなぐと、悟りの脳波と呼ばれるシータ波が被験者全員に現れたことでした。この脳波は高僧が意識を集中した際に現れる脳波で、超能力者が超常現象を起こす際に出る脳波と共通していることも知られています。開発のきっかけは電磁波対策でしたが、長年の研究により「人の生命力を高める夢のアイテム」に進化しています。生命の持つ無限の可能性を発揮して現代社会ならではの課題をクリアし、元氣よく毎日を送りましょう。いつもありがとうございます。

株式会社カムナ・プランニング 青木敬司

NEWS & TOPIC KAMUNA PRODUCTS

電磁波から身を守り
悟りの脳波「シータ波」へ導く夢のテクノロジー



生体エネルギー応用商品

「命慧」「あまね」「慈空」



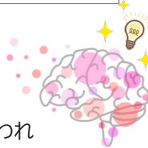
「命慧 (いのちゑ)」「あまね」「慈空 (じくう)」は、生体エネルギー研究所の佐藤政二さんが提唱する“あらゆる存在の持つエネルギーを高め、本来の能力を引き出す情報(プログラム)”を取り入れた生体エネルギー応用商品です。これらの機器に通電することにより、電気の持つエネルギーと、内蔵する合金に書き込まれた情報が相互作用し、電気自体に情報の転写が行われます。この情報は電気と一緒に運ばれて使用する人に伝わり、この影響を受けた人は、大脳活性化値、脳血液循環、ホルモン量、サーカディアンリズム、CRP値(炎症マーカー)などに変化が現れることが、第三者機関での検証試験で明らかになりました。また、高僧が精神を集中させた際に発する脳波「シータ波」が出現しやすくなり、健康面だけでなく、知的活動や精神性の向上にも貢献することも分かってきました。

※ 第三者機関による検証試験実施済み商品

What's シータ波?



シータ波は、悟りの脳波とも呼ばれている、4~8Hz帯域の脳波で、長年修行を重ねた高僧が精神を集中した時や、超能力者が超常現象を引き起こす際に生じる脳波とも言われています。また、卓越したアスリートが特別な集中状態で驚きの能力を発揮するゾーンやフローと呼ばれる状態にも共通しています。覚醒時の比較的粗い脳波は信号が多いゆえに情報のやりとり多くのロスが生じるのに対し、シータ波においては必要な情報が整理され、効率よく的確にやりとりされている状態とも考えられています。



電気に生体エネルギーをプラスするマルチタップ



■命慧 (いのちゑ)

「命慧」は電気に生体エネルギーの情報(プログラム)を転写するマルチタップです。電気機器の電源につなげると電気のエネルギーが高まり、電磁波によるマイナスな影響を和らげます。「命慧」に取り入れているプログラムは、電気と一緒に電気機器に流れ、照明器具の光や、PCやテレビのディスプレイの光にのって運ばれます。光以外にも暖房器やホットカーベット、電気毛布などは熱と共に、オーディオ機器は音波や振動に、冷蔵庫や電子レンジであれば冷気やマイクロ波にのって運ばれますので、人も対象物もその影響を受けることができます。

定格電圧:125V、最大電流:15A(1500W)、コード長さ:1.2m
サイズ:200 x 45 x 45 (mm) 140,800円(税込)

電磁波を生体エネルギー化して相手にも与える新技術



■あまね

「あまね」は、携帯電話やスマートフォンに特化したプログラムを取り入れた、専用の充電器です。画面の光、音、電波を介してプログラムが伝わり、電磁波のネガティブな影響を和らげ、使用する人のエネルギーを高めます。電波を発信する側も、受信する側も、同じようにプログラムが働きます。通信相手が海外に居ても同様に効果が得られることを確認しています。

定格電圧:125V、最大電流:1.0A、コード長さ:0.8m
サイズ:97 x 47 x 25 (mm) 49,500円(税込)

磁場に生体エネルギーを乗せ生体磁場と共鳴させる携帯タイプ



■慈空 (じくう)

「慈空」は、本体から発している磁場を利用して、本体から約5mの範囲にプログラムの場をつくります。この範囲にいるすべての方に影響を与えることが可能になりました。持ち歩き可能なサイズにしていますが、小さなお子様など持ち歩けない方は、お休みしている間にそばに置くだけで、日中に持ち歩かなくてもその影響を保てるようになっています。

電源:DC1.2~1.5V(単4乾電池1本使用)、重量:約27g(電池含まず)
サイズ:30 x 94 x 18.6 (mm) 73,480円(税込)

・・・ICR研究所アイテムのご注文はお電話にて承ります。・・・

Information & 広場

ICI研究所アイテムにまつわる気になるおはなし



■ICI研究所 代表取締役会長 新田雄久さんインタビュー！



新田雄久さん

ICI研究所は情報を取り扱うことで技術革新を目指していましたが、Information(情報)だけでは無理で、Intelligence(知恵)がないと成立しません。さらにはI(愛)が無ければいけないと考えていました。すべての存在は“いのち”を持っているからです。生体エネルギー研究所の佐藤政二先生の言われる情報は、その“いのち”から来ていることが分かったのです。そういう経緯でI(愛)を最大限尊重する意味でICI研究所という名前にしました。

I(愛)に基づく情報技術ですから、人の“いのち”につながり、励起する商品でなければいけません。当時は携帯電話が普及し始めた頃で、ヨーロッパではいち早く電磁波の人体への影響が指摘されていました。ところが日本は電磁波の影響については全く触れませんでした。このままでは携帯電話の普及と共に、大きな問題になるのは間違いないという確信がありました。

そこで電磁波に情報を加えれば人体に悪影響を及ぼさないと考えました。もともと生体エネルギー研究所には電気に情報を転写させる装置がありましたので、そのパーソナルユース化を目指したのです。この考えを生体エネルギー研究所の佐藤政二先生にご理解いただき、技術協力を得られたことで、携帯電話専用の充電器を弊社の第一号商品「amane(天音)」としてリリースできました。その後、情報技術が進化してスマートフォンや5Gに対応できるようになり、昨今の製品の開発に至りました。

この情報を作動させるには電気が必要になります。装置内の合金に通電するエネルギーを利用して電気自体に情報を転写します。合金に書き込まれた情報を電気が運び出して、私たちの元に届けるというイメージです。

情報(プログラム)の詳細についてよく聞かれますが、ひと言で言う“あらゆる存在の持つエネルギーを高め、本来の能力を引きだすための情報”です。これは宇宙法則のような、あらゆる存在を生々発展させ、生命を育む、とても高い次元の情報です。

現代社会は、電気を多用することで様々な環境の劣化が進み、多くの人が知らぬ間にその影響を受けています。2021年に最も売れた本とも言われる「スマホ脳」(アンデシュ・ハンセン著、新潮新書)には、その具体的な例の一つとして、スマホが与える影響について記されています。そんな時代に電磁波のネガティブな影響を少しでも和らげられないかという思いで「命慧(いのちゑ)」「あまね」「慈空」をリリースしました。これらの商品に取り入れている情報を通して、心身の健康を目指していただき、人に本来備わる無限の可能性を引きだし、人生を進化・発展させるためにお役立ていただければと思います。その結果として、争いごとの無い、万物が調和する社会の実現に貢献できましたら製造元としてこの上ない喜びです。

■よるこびの声がいっぱい！ ※体感には個人差があります。

「命慧(いのちゑ)」 ・PCの電源を命慧につないでいるせいか、長時間仕事をして目も疲れなくなりました。 ・パソコン作業の質が上がっています。忙しくても気持ち安定して自然体でいられます。 ・冷蔵庫に使用したら食材の持ちがぜんぜん違うし美味しくなっぴっくりです。 ・命慧を複数台使い始めてから部屋の雰囲気が変わり、イヤシロチになりました。 ・壊れかけていたプリンターに命慧をつないだら不具合が起きなくなりました。

「あまね」 ・スマホの電源につないだ瞬間、画面の光がやわらかく、とても良い感じがします。 ・スマホを持つと違和感がありましたが、今は手に持っている方が調子が良いです。 ・あまねにつないでから、電磁波ストレスが軽減して助かっています。 ・長時間歩く時もあまねで充電したスマホを持っていると疲れにくいです。

「慈空」 ・更年期障害がひどく起き上がれない日があるほどでしたが、それが無くなりました。 ・心が穏やかでいられます。常に冷静な判断ができていくように思います。 ・集中力が増して余計なことを考えることが少なくなりました。 ・ぐっすり眠れています。寝相も良くなりました。 ・仕事が以前より早く、正確になって褒められました。 ・お肌が明るくなってもちもちしてきました。

感動のおすそ分け

シート波と直感力

私が脳波に興味を持ち始めたのは今から30年前に手にした船井幸雄さんの著作「直感力の研究」でした。人の無限の可能性をひらくには直感力の発現が決め手になるというお話で、そのために大事なものはインテリジェンス(知能能力、インテレクト)と知恵能力、インテュイション(直感能力の3つと言われます。インテリジェンス能力は、知り、記憶し、それを引き出す能力。インテレクト能力は応用力で、創造や類推する力、あいまいなことにも答えを導く能力。インテュイション能力は、意識を集中することにより、考えなくとも瞬時に正しい答えの分かる能力で、「一切の思考を通さず、心が自らの超意識を通して直接なにかを認知すること」と定義されています。インテリジェンス能力とインテレクト能力は努力で高いレベルを獲得できますが、インテュイション能力は超意識から得る能力のため、正しい生き方、天地自然の理に従った生活、人間性の向上といったレベルの違う条件が必要になるそうです。

この流れで触れていたのが脳波でした。リラックスを示す脳波であるアルファ波が心を鎮め、閃きや問題解決につながると示された後に、シート波(4〜8Hz)の時の方が直感力は発揮されると述べておられます。

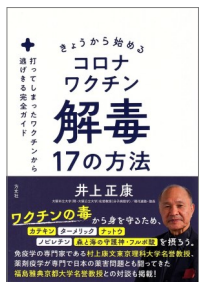
これらの脳波は、瞑想している時のように、心身ともに調和のとれている時に出やすいことが分かっています。好きな絵や花の飾られた落ち着ける部屋で、おだやかな海や小川のせせらぎを見、好きな音楽を聴き、楽しいことを思い出すのが最も良く、これらは人の心が最も超意識に近づいている状態にある時ならびにそれらをつくる雰囲気環境と言われます。

30年前にもこれほど具体的に示され多くの人を導いていたのです。さすが経営指導の神様です。その影響を受けた一人として、今月号で取り上げた「人をシート波に導く商品」をプロデュースできることに喜びを感じています。この脳波は、健康や美容だけでなく、能力や人間性をも高め得る根源的なアプローチだと思います。シート波で直感力を獲得し、ますます充実した毎日を送りましょう。

今月の1冊 きょうから始めるコロナワクチン解毒17の方法

井上 正康 著 方丈社

大阪市立大学医学部名誉教授による、コロナ騒動で国民の大半が摂取したワクチンの驚きの実態と数々の問題点、接種者に広がる後遺症や未曾有の超過死亡者数、増加するがん患者など、様々なタブーに切り込んだ著作。世界の専門家の発信する新型コロナやmRNAワクチンに関する情報は、日本で見聞きする情報と大きく乖離している実際を分かりやすく解説されています。さらに、新たに開発が進む従来のmRNAワクチンを改良したレプリコンワクチンについては、今回のワクチンより深刻な事態を引き起こしかねないと警鐘を鳴らします。専門的な話に加え、食生活を通して感染症から身を守る知恵や、血栓症を予防するために自分でできるマッサージ法も紹介されています。免疫学の専門家や、薬害問題のプロフェッショナルの先生との対談も収録されていて充実した内容です。コロナ騒動に次ぐ異常事態が起きる前に、一人ひとりが学び、自ら選択する知恵と勇気を養う必要があるでしょう。騒動がひと段落した今、その総決算をする意味においても相応しい、充実した内容です。



カムナ・ナウ

先日外出して電車に乗ろうとしたところ

PASMOを忘れたことに気づき、かなり動揺してしまいました。ほんの十数年前までは駅の路線案内で乗り継ぎを調べ、切符を買うのが普通だったのに。便利なことはすぐに当たり前になってしまふものですね。外出する際、携帯電話や財布を忘れることが時々ありますが、今回ご紹介の慈空には、忘れたためしがありません！スパーに行く時も、近所へ散歩に行く時もなぜか必ず持っているんですよ。(ゆ)